

# 令和6年度第1回スポーツ推進審議会

令和6年4月17日（水）午後6時00分～  
（小金井市役所第二庁舎8階801会議室）

## 次 第

### 1 議題

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 自己紹介
- (3) 正副委員長の互選
- (4) 会議の運営等について
- (5) 第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認の方法について
- (6) 令和6年度スポーツ推進審議会スケジュールについて
- (7) 令和6年度 スポーツに係る予算について
- (8) スポーツ団体に対する補助金交付について
- (9) その他

### 2 配付資料

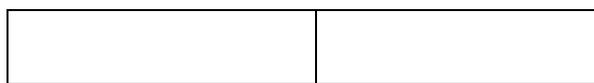
- 資料1 小金井市スポーツ推進審議会委員名簿（第2期）
- 資料2 小金井市スポーツ推進審議会 座席表
- 資料3 会議の運営等について（案）
- 資料4 第2次小金井市スポーツ推進計画進捗状況調査結果
- 資料5 令和6年度スポーツ推進審議会スケジュール
- 資料6 令和6年度 スポーツに係る予算について
- 資料7 令和6年度スポーツ関係団体への補助金交付額

## 小金井市スポーツ推進審議会委員名簿（第2期）

任期 自：令和6年2月14日  
至：令和8年2月13日

氏名	所属・推薦団体	委員歴	適用
やまだ ひろみ 山田 裕己	(公財) 小金井市体育協会	2期目	社会体育関係者
はっとり けいじろう 服部 啓次郎	特定非営利活動法人 黄金井倶楽部	2期目	社会体育関係者
もとはし れいこ 本橋 玲子	小金井市スポーツ推進委員協議会	2期目	社会体育関係者
ながい ひとし 永井 均	小金井市総合体育館・栗山公園健康運動センター 指定管理者 TAC・FC東京・TGTS共同事業体	2期目	社会体育関係者
だんぼら のぶかず 檀原 延和	小金井市立小・中学校長会 (南小学校校長)	2期目	学校教育関係者
おおた あやこ 太田 あや子	学校法人後藤学園 武蔵丘短期大学	1期目	学識経験者
たなか ゆきお 田中 幸夫	国立大学法人 東京農工大学	2期目	学識経験者
ただ けいこ 多田 啓子	公募委員	2期目	市民
みわ みほ 三輪 美穂	公募委員	1期目	市民
わたなべ めぐみ 渡邊 恵	公募委員	1期目	市民

出入口

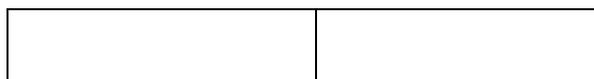


傍聴席

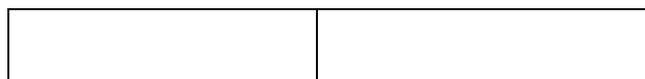
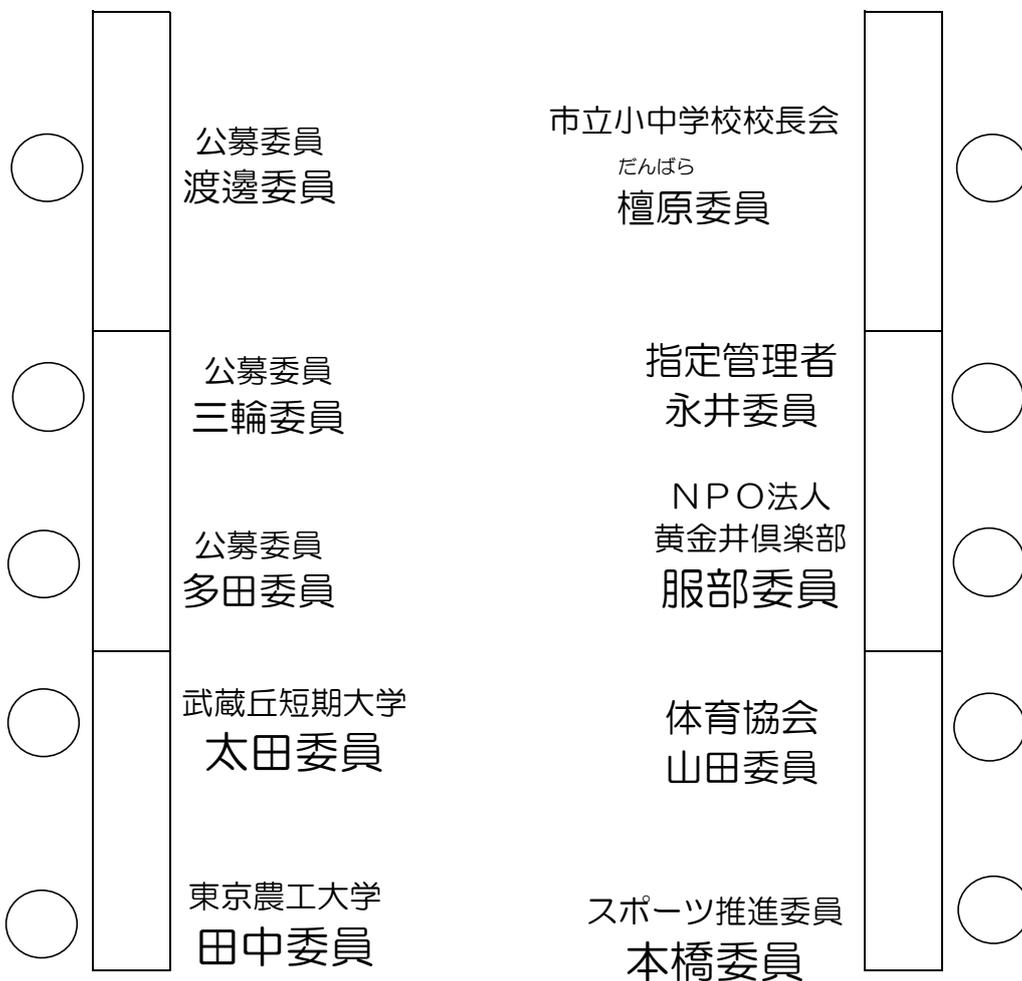
スポーツ振興係

生涯学習課長

生涯学習部長



事務局



## 会議の運営等について（案）

## 1 会議録作成の基本方針等

- (1) 小金井市スポーツ推進審議会における会議録の作成は、市民参加条例施行規則第5条の規定により、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録の作成方法のうち、**（全文記録方法）**とする。
- (2) 会議録は、原則として次回の会議で内容の確認後、ホームページに掲載し、情報公開コーナー（第二庁舎6階）等に据え置き公開する。
- (3) 発言者名を正確に把握するため、会議での発言は会長が指名後、名前を発言してから行う。（例「〇〇です。〇〇〇については、・・・」）

## 2 会議の公開

小金井市スポーツ推進審議会は、小金井市市民参加条例第6条の規定により、原則として公開する。

## 3 会議の傍聴

小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領のとおりとする。

## 4 「意見・提案シート」について

- (1) 「意見・提案シート」を設置**（する・しない）**。
- (2) 設置する場合、**必ず記名を求め、正式資料として公開の対象とする。無記名であった場合は参考資料として委員のみに配布する。**提出された「意見・提案シート」は、**原文のまま**配布する。ただし、公序良俗に反する内容や個人情報に関する内容等の場合、配布しない。一部がそのような場合は墨塗りして配布する。提案内容について、**委員から審議に取り上げたいと申し出があった場合、審議の時間を設ける。**
- (2) **「意見・提案シート」**が、会議開催日の1週間前の午後5時までに提出されたものは（氏名、提出日を記載していただく。）、次回会議で配付するものとする。



# 第2次 小金井市スポーツ推進計画 進捗状況調査結果 (令和5年度)



## 第2次小金井市スポーツ推進計画進捗調査（令和5年度）の概要について

### 1 調査の概要

この調査は、令和5年3月に策定した第2次小金井市スポーツ推進計画（以下、「計画」という。）で掲げた「第4章 基本方針に基づく施策展開」に基づき3つの基本方針の進捗状況を確認し、同計画の基本理念である「豊かな生涯を運動・スポーツとともに」の実現を目指すため、9つの基本施策の進捗状況について年度別に整理したものとなっている。

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組が全国的に進められた年であり、各種の施策についてもやむを得ず一部中止した期間がある。

また、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」）上の分類が5類感染症へと移行（令和5年5月8日）し、外出自粛要請等が解除された年度であり、平常の年度の比較ではないことを承知しておきたい。

上記のような条件下ではあったが、令和5年度の進捗状況は下記のとおり概ね順調に進行していると認める。

### 2 進捗状況確認の期間

令和5年度中に行った事業

### 3 基本方針ごとの進捗状況の概要

#### (1) 「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」について

総合評価 B

各種のスポーツ教室・大会等については、概ね予定どおりに開催することができた。また、部活動の地域連携等については、新たに委員会を設置するため関連条例を市議会に提案し、同条例の可決・成立を経て令和5年度中に第1回目の会議を開催したところである。

なお、基本施策1-1から1-5までの取組についても、概ね順調な活動量となったが、一部、比較的参加者数が少ない事業があることから総合評価をBとした。（R5実績確認後、修正可能性あり）

#### (2) 「運動・スポーツを通じた健康づくり」について

総合評価 B

健康づくりに資するイベント・教室等については、ほぼ予定どおりに開催することができ、イベント内外で日常的に実施できる運動・スポーツの情報提供を行った。また、FC東京連携イベント来場者に市内スポーツ施設やイベント案内などを行い、スポーツ団体を周知するチラシを配布するとともに生涯学習課が開設するSNSアカウントのフォロー勧奨を実施し、フォロワー数を大幅に増加させることができた。

基本施策2-1から2-2までの取組について、概ね順調な実績となっているが、広報の強化については引き続き改善の余地が認められることか

ら総合評価をBとした。

(3) 「運動・スポーツ環境の充実」について

総合評価 B

市内の各スポーツ施設については、修繕等により一時、利用中止せざるを得ない期間もあったが、概ね前年度と同様の利用人数であった。

この外、総合学院テクノスカレッジの体育館の地域開放を再開するとともに野村不動産ライフ&スポーツ株式会社との包括連携協定に基づきメガロス武蔵小金井の施設開放について協議を進め、市内プロバスケットボールチームによる小学生向け教室の試行を実施した。

小金井市が有するスポーツ施設等については、引き続き市民ニーズが高い状況であるが、基本施策3-1から3-2までの取組について、概ね順調な実績となり、上述の課題から総合評価をBとした。

「基本方針ごとの進捗状況の概要」の評価基準

A…十分達成

B…おおむね達成

C…努力を要する

D…未実施・中止

E…事業終了

## 基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

### ◆評価指標 週一回以上運動・スポーツを実施している市民の割合

※アンケート調査「市長への手紙」から計上（無作為に抽出した2千人の市民の方に送付したうち回答があった数を集計） n=週一回以上運動・スポーツを実施している方/回答者数

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
結果（n）	63.2%	62.2%							

目標値65%

目標値70%

## 基本方針2 運動・スポーツを通じた健康づくり

### ◆評価指標 自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合

※アンケート調査「市長への手紙」から計上（無作為に抽出した2千人の市民の方に送付したうち回答があった数を集計） n=自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じている方/回答者数

年度	R 1	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
結果（n）	75.8%	70%							

目標値80%

目標値80%  
(維持)

## 基本方針3 運動・スポーツ環境の充実

### ◆評価指標 市スポーツ施設の利用者数

※総合体育館、栗山公園健康運動センター、市営テニスコート場、上水公園運動施設

年度	R 1	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
結果（n）	53.6 万人	55 万人							

目標値60万人

目標値60万人  
(維持向上)

## 基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

### ◆個別指標

R5年度評価

**B**

#### 1-1 子どもの運動・スポーツ活動の推進

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

- ・運動・スポーツに関心のある子どもたちがさらに楽しめる事業を実施。
- ・普段運動・スポーツをしていない子どもにも身体を動かすことの楽しさや関心を与えられる教室や大会等を実施。
- ・子どもたちが運動・スポーツに継続して親しむことができる機会の確保を目指す。

### 誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施

R5年度評価

**B**

(評価の理由)

土曜スポーツクラブ、野川駅伝大会等、子どもたちに運動・スポーツに親しむ機会を提供することができた。また、スポーツフェスティバルでは年齢や能力にかかわらず楽しめるスポーツのブースを複数設置し、大人と一緒に普段運動・スポーツをしていない子どもでも楽しめるものとした。

なお、比較的参加者数が少ない事業があり今後、周知方法等を検討する。

### 中学校運動部活動の地域移行への対応

R5年度評価

**B**

(評価の理由)

学校部活動の地域連携等については、先進市への視察を実施し、新たに委員会を設置するため条例及び関連予算を市議会に提案し、令和5年第4回定例会において可決・成立した。委員公募等を経て、令和6年3月に第1回「小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会」を開催し、令和6年度以降の委員会運営について意見交換等を行った。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
土曜 スポーツ(人)	381	400							
野川駅伝 (人)	376	400							

## 基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

R5 年度評価

### ◆個別指標

#### 1-2 働き盛り・子育て世代の運動・スポーツ活動の推進

B

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

- ・子どもだけでなく大人も一緒に同じ場所で運動・スポーツができるプログラムの開催や、働き盛り・子育て世代が参加しやすく楽しめる運動・スポーツ事業を実施。
- ・夜間や休日等、参加しやすい日程・時間帯に、初心者や初めて利用する方でも気軽に参加できる教室や大会等のプログラムを実施。

B

#### 働き盛り世代が家族で楽しめる運動・スポーツプログラムの実施

R5 年度評価

(評価の理由)

ジュニアサッカーフェスティバルやスポーツ個人開放校等、働き盛り・子育て世代の市民の方が土・日曜日や平日夜に運動・スポーツに親しむイベント・教室を開催できた。また、親子健康教室では小学生と保護者向けに健康に関する座学・実践の講習を実施した。

なお、一部の事業において定員より多くの応募があり参加できない方が生じたため、多くの希望者に参加いただけるよう事業運営方法の検討を行う。

B

#### 参加しやすく楽しめる運動・スポーツプログラムの実施

R5 年度評価

(評価の理由)

スポーツフェスティバルでは年齢や能力にかかわらず楽しめるスポーツのブースを複数設置し(1-1再掲)初心者も気軽に楽しめるものとした。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ジュニアサッカーフェスティバル(人)	66	70							
野川駅伝(人)	144	144							
スポーツ個人開放校(人)	不明	不明							

## 基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

R5年度評価

### ◆個別指標

#### 1-3 高齢者の運動・スポーツ活動の推進

B

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

・地域における仲間づくりや交流を進め、健康・体力づくりやフレイル予防等につながるよう、体操並びにニュースポーツ等による運動意欲の向上を図り、高齢者の方々に様々なスポーツ実施の機会を提供。

B

#### 高齢者のニーズに対応する運動・スポーツプログラムの実施

R5年度評価

(評価の理由)

シニアスポーツフェスティバルで中高年齢向けに複数種目の大会を実施したほか、ポールウォーキング教室でストレッチ体操や歩き方の講習を行った。また、スポーツフェスティバルでは年齢や能力にかかわらず楽しめるスポーツのブースを複数設置し、参加意欲の向上を図った(1-1、2再掲)。

小金井さくら体操自主グループ活動への支援を行い、他部門(介護福祉課)とともに高齢者の健康維持・増進に寄与することができた。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
小金井さくら体操自主グループ活動(人)	6,733	7,000							
シニアスポーツフェスティバル(人)	818	672							

## 基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

R5年度評価

### ◆個別指標

#### 1-4 障がい者の運動・スポーツ活動の推進

B

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

・運動・スポーツが苦手な方への動機づけや実施機会を確保し魅力あるイベントを実施するなどとともに、情報提供を行う。また、障がいの有無に関わらずスポーツに参加でき、誰もがともに楽しめるインクルーシブスポーツの普及を図る。

B

#### 障がい者の運動・スポーツプログラムの実施

R5年度評価

(評価の理由)

ポッチャ教室等やニュースポーツ出前教室等で障がい者の方の運動・スポーツの実施機会を設けるとともに、障がいの有無に関わらず楽しめるインクルーシブスポーツを普及する場を開設した。その他、障がい児(者)の方が水泳に触れ、マンツーマンで泳ぎを学ぶ水泳教室を実施した。

今後は、障がいの状況により配慮すべき事項が異なる場合もあることから、事業実施の際により一層の注意が必要である。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ポッチャ教室・ポッチャ大会(人)	205	200							
障がい者(児)水泳教室(人)	0	18							
ニュースポーツ出前教室(人)	519	500							

## 基本方針1 誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進

R5 年度評価

### ◆個別指標

#### 1-5 競技能力・指導力向上への支援

B

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

- ・市にゆかりのあるプロチームや企業・大学等と連携して、教室や講習会、講演会等を開催し、運動・スポーツ実施者の興味・関心の獲得と競技能力の向上、指導者の指導力向上を図る。
- ・講習会、研修等の情報発信を図り、指導者の資格取得や適切な指導力の獲得を支援するとともに、行き過ぎた指導等の相談窓口に関する情報を発信。

#### トップチーム・アスリート等と連携した競技能力・指導力向上

B

(評価の理由)

R5 年度評価

ジュニアサッカーフェスティバルや少年少女野球教室等でF C東京のコーチや元プロ選手からの指導が受けられたり、学芸大クラブ教室で大学生による指導に触れる機会を提供できた。

#### 指導者講習会等の情報発信

B

(評価の理由)

R5 年度評価

日本スポーツ協会によるスポーツにおける暴力行為等相談窓口について生涯学習課Xで周知した。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
少年少女野球教室(人)	78	80							
走り方教室(人)	44	45							
学芸大クラブ教室(人)	83	80							

## 基本方針2 運動・スポーツを通じた健康づくり

R5年度評価

### ◆個別指標

#### 2-1 健康づくりに資するイベント・教室等の開催

B

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

- ・健康づくりにつながるイベント・教室等を複数実施し、参加者の拡大を図る。
- ・職場や家庭で実施できる運動・スポーツの情報提供、スポーツ施設以外の施設・空間等でも気軽に運動・スポーツが実施できる環境づくりを進める。

B

#### 健康づくりに資するイベント・教室等の開催

(評価の理由)

R5年度評価

ポールウォーキング教室でストレッチ体操や歩き方の講習を行った。(1-3再掲)健康教室で健康に資する体操やストレッチ、歩き方など実践を交えた講習を行った。こがねい国保健康チャレンジではウォーキングや健診受診によりポイントをため、一定数のポイントがたまと景品と交換できる取組で被保険者の健康維持、増進に寄与することができた。

B

#### 日常生活での運動・スポーツの機会の提供

(評価の理由)

R5年度評価

東京都が作成した年齢問わず楽しめる体操の動画「誰でもフィットネス」を生涯学習課Xにて周知した。

(設定した活動量の指標)

※すべて参加人数 単位：人

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ポールウォーキング教室	74	400							
健康教室	79	400							
こがねい国保 健幸チャレンジ	381	446							
体力測定	376	12							

## 基本方針2 運動・スポーツを通じた健康づくり

### ◆個別指標

#### 2-2 運動・スポーツに興味・関心を持つ機会の充実と情報発信の強化

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する  
D…未実施・中止 E…事業終了

**B**

R5年度評価

(評価のポイント)

- ・既存のスポーツ事業に参加しやすくなるよう広報の強化等を検討。イベント等において、運動・スポーツの機会提供、情報発信等実施。
- ・市内のスポーツ施設や施設開放等の取組に関する情報発信を強化し、スポーツ事業の認知度向上と利用・参加方法を周知。情報発信における連携を通じて市民同士の交流や市内団体・組織の横断的な協力関係づくりを促進。

**B**

#### 気軽に参加できるスポーツイベントの実施

R5年度評価

(評価の理由)

スポーツフェスティバルでは、年齢や能力にかかわらず楽しめるスポーツのブースを複数設置し(1-1、2,3、再掲)気軽に楽しめるイベントとした。F C東京連携イベント「小金井の日」において来場者に市スポーツ施設やイベント、スポーツ団体を周知するチラシを配布するとともに生涯学習課Xのフォロー勸奨を行った。

**C**

#### 様々な広報媒体の活用・連携、広報手段の改善・充実

R5年度評価

(評価の理由)

総合体育館および栗山公園健康運動センターの利用(団体・個人の登録の可否)について、市公式ラインで質問への回答を設定した。また、各種大会や教室等においては、市内の関係団体やボランティア等が運営を担っていることから、参加側だけでなく運営側でも横断的な交流を促すことができた。なお、広報の強化については、より参加しやすくなるよう今後も工夫・改善を進めていく。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
X(旧Twitter)フォロワー数(人)	289	577							
スポーツフェスティバル(人)	1,537	1,500							

## 基本方針3 運動・スポーツ環境の充実

### ◆個別指標

### 3-1 安全で快適に運動・スポーツができる場の充実

B

R5年度評価

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

- ・施設の適切な管理や持続可能なスポーツ施設のあり方、利用者の利便性を高めるソフト面の充実等。
- ・小中学校の校庭や体育館等の体育施設について開放を推進。
- ・市内の企業や大学等が所有する運動・スポーツ施設の開放働きかけ。
- ・感染症予防の徹底、暑さ指数（WBGT値）等情報提供を行い安全管理の徹底。

B

### 安全・快適な公共スポーツ施設環境整備

R5年度評価

(評価の理由)

経年劣化による小金井市テニスコート場の人工芝について修繕（2件）を行ったほか、上水公園運動施設サッカーゴール及びネットの更新を行った。その他、市のスポーツ施設については、修繕等により利用中止の期間があったがおおむね前年度同様の利用人数となった。ジュニアサッカーフェスティバルにおいて親子2名に限らず3名の組でも参加可とし、子育て世代にとって参加しやすいものとした。

B

### 学校施設・民間施設の市民開放

R5年度評価

総合学院テクノスカレッジの開放を再開するとともにメガロス武蔵小金井と包括連携協定に基づき施設開放について協議を進めた。

B

### 安全な施設利用の推進

R5年度評価

猛暑の中でのスポーツの危険性や厚さ指数（WBGT値）について、SNS等で注意喚起を行った。

(設定した活動量の指標)

施設例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
総合体育館 (人)	189,941	190,000							
栗山公園健康 運動センター(人)	82,437	83,000							
市営テニスコート (人)	41,480	41,500							
上水公園運動 施設(人)	36,882	36,900							
一中クラブ ハウス(人)	6,290	6,300							
民間施設 開放(人)	0	0							

## 基本方針3 運動・スポーツ環境の充実

### ◆個別指標

### 3-2 運動・スポーツを支える体制の充実

R5年度評価

**B**

A…十分達成 B…おおむね達成 C…努力を要する D…未実施・中止 E…事業終了

(評価のポイント)

- ・各種の団体と連携し、運動・スポーツの場・交流機会の充実を図る。
- ・地域の多様な団体・人材と連携し、運動・スポーツイベント等を支える体制の充実、コミュニティ活性化を図る。

### スポーツ関連団体等との連携推進

**B**

(評価の理由)

R5年度評価

総合学院テクノスカレッジの開放を再開するとともにメガロス武蔵小金井と包括連携協定に基づき施設開放について協議を進めた。(3-1再掲) FC東京との連携事業ではホームゲームに市民を無料招待する小金井の日等例年同様の取組に加えて、近隣5市連携事業「子ども体験塾」でe-スポーツに触れるイベントにFC東京のクラブコミュニケーターが登壇した。

### 地域との連携による運動・スポーツを支える体制の充実

**B**

(評価の理由)

R5年度評価

各種大会や教室で、市内の関係団体やボランティアが運営を担っていることから、参加側だけでなく運営側でも横断的な交流を促すことができた。(2-2再掲) スポーツイベントで東京都のスポーツボランティアのチラシを配布した。

(設定した活動量の指標)

取組事例	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
FC東京連携事業(件)	16	16							

## 令和6年度 スポーツ推進審議会スケジュール（案）

### 第1回

日時 4月17日（水） 18時00分～  
場所 小金井市役所第二庁舎801会議室

### 第2回

日時 7月  
場所 小金井市役所第二庁舎801会議室  
議題 スポーツ推進計画進捗確認

### 第3回

日時 11月  
場所 小金井市役所第二庁舎801会議室  
議題 スポーツ推進計画進捗確認

### 第4回

日時 1月  
場所 小金井市役所第二庁舎801会議室  
議題 未定

## 令和6年度 スポーツに係る予算について

1 歳入			(千円)
主な収入	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	増減額
使用料、東京都補助金、太陽光発電余剰電力売電料、光熱水費、自動販売機収入	20,846	20,553	293

2 歳出			(千円)
事業名	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	増減額
スポーツ推進委員に要する経費	3,701	3,321	380
市民体育祭に要する経費	6,582	6,766	▲ 184
スポーツ教室・各種大会に要する経費	12,379	10,203	2,176
スポーツ開放・学校開放に要する経費	3,280	3,291	▲ 11
負担金・補助金	14,836	14,808	28
その他社会体育事務等に要する経費	754	1,791	▲ 1,037
民間体育施設開放に要する経費	766	615	151
スポーツ推進審議会に要する経費	511	510	1
学校部活動の地域連携に要する経費	3,373	0	3,373
上水公園運動施設等維持管理に要する経費	14,776	15,318	▲ 542
総合体育館維持管理に要する経費	195,412	134,096	61,316
小金井市テニスコート場維持管理に要する経費	22,797	22,370	427
栗山公園健康運動センター維持管理に要する経費	93,629	92,894	735
計	372,796	305,983	66,813

令和6年度スポーツ関係団体への補助金交付額（内訳と昨年度との比較）

1 公益財団法人小金井市体育協会

（単位：円）

	令和6年度	令和5年度	増減	備考	団体の目的	根拠規定
I 事務費補助	8,852,952	8,831,700	21,252	人件費補助	小金井市における体育運動を振興して市民の健康増進と体力向上を図り、スポーツ精神を涵養し、もって地域社会の生活・文化の向上・発展に寄与する。	小金井市体育協会補助金交付要綱
II 事業費補助	3,223,100	3,223,100	0			
1 婦人・子供スポーツ大会	0	0	0	実施しない		
2 指導者派遣	26,000	26,000	0	指導員の登録、紹介		
3 青少年スポーツ育成	469,000	469,000	0	スポーツ少年団の育成と体育優良生徒を表彰		
4 研修活動費	24,000	24,000	0	指導者・実務者研修の実施		
5 広報活動費	162,000	162,000	0	新聞・広報紙の発行、HP維持・更新		
6 各種大会共済費	2,340,000	2,340,000	0	26団体／44事業実施予定		
7 体育館等使用料補助	128,100	128,100	0	体育施設の公的使用への補助		
8 市民健康開発事業	64,000	64,000	0	健康体操、講習会等の実施		
9 スポーツ交流事業	10,000	10,000	0	他地域団体との交流事業		
合計	12,076,052	12,054,800	21,252			

2 NPO法人黄金井倶楽部

（単位：円）

	令和6年度	令和5年度	増減	備考	団体の目的	根拠規定
I 事務費補助	2,358,204	2,352,420	5,784	人件費補助	年齢、性別を問わず、自発的にスポーツや文化活動を楽しみ、各自の健康、体力の維持・向上を図るための事業を行う。	黄金井倶楽部補助金交付要綱
II 事業費補助	400,000	400,000	0	スポーツ・健康増進・文化活動振興事業		
合計	2,758,204	2,752,420	5,784			

3 1、2の合計

	令和6年度	令和5年度	増減
合計	14,834,256	14,807,220	27,036

※ 上記金額は、両団体ともに年度当初の交付決定（予定）額であり、確定額は年度終了後に提出される実績報告に基づき確定する。